

乳がん

【集学的治療の実施状況】

○外科・消化器外科

麻酔科、病理診断科、放射線科、形成外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、外来化学療法室、緩和ケアチーム、NST チームと連携し、集学的治療を行います。

触視診、各種画像検査、細胞診、針生検、マンモトーム生検、センチネルリンパ節生検等によって確定診断や広がり診断を行い、治療方針や手術術式（乳房温存手術、乳房切除術）を決定します。

形成外科と連携して、2 期的に乳房再建術も行っています。また、術後の身体機能の回復を目指し、リハビリテーション科と連携して、早期から理学療法を行います。

さらに、化学療法やホルモン療法等の薬物療法も行っています。

○放射線科

画像診断と放射線治療を行います。

○栄養サポートチーム（NST）

医師、栄養士、看護師、薬剤師等が連携し、がんや治療の副作用による食欲低下、体重減少等に対するサポートを行っています。

○緩和ケアチーム

医師、認定看護師、認定薬剤師、管理栄養士、心理士、医療ソーシャルワーカーなどから構成されたチームが中心となり、患者の身体的苦痛や精神的苦痛の緩和に努めます。

《準じているガイドライン》

マンモグラフィガイドライン（日本放射線技術学会）

乳房超音波診断ガイドライン（日本乳腺甲状腺超音波医学会）

乳癌診療ガイドライン（日本乳癌学会）

乳房温存療法ガイドライン（標準的な乳房温存療法の実施要項の研究班）

NCCN ガイドライン

がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

苦痛緩和のための鎮静に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

終末期癌患者に対する輸液療法のガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の消化器症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん患者の呼吸症状の緩和に関するガイドライン（日本緩和医療学会）

がん性痛に対するインターベンショナル治療ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン（日本ペインクリニック学会）

在宅緩和ケアガイドブック（日本緩和医療学会）